

【NEWS RELEASE】

2021年8月31日

各 位

株式会社三井住友銀行

株式会社扇谷に「SDG s 推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社扇谷（代表取締役社長：扇谷 迪宏）に「SDG s 推進融資」を実施いたしました。

「SDG s 推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDG s（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDG s 貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDG s の取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、株式会社扇谷については、以下に記す事業を通じて、SDG s の目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 非鉄金属リサイクル原料の回収・販売を通じた循環型社会形成、電気自動車用金属材料の提供による脱炭素社会への貢献

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
目標 9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	9.4 2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取組を行う。
目標 13 気候変動に 具体的な対策を	13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減および早期警戒に関する教育、啓発、人的能力および制度機能を改善する。

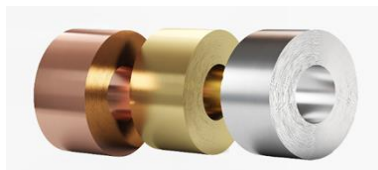
- ② プリント基板のマテリアルリサイクル事業による資源利用効率の向上、有害化学物質の排出抑制

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。
	12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組に従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質やすべての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

三井住友銀行では、「SDG s 推進融資」により、本業を通じ、SDG s が達成される社会の実現に貢献をしております。



非鉄金属リサイクル原料の回収/
販売を通じた循環型社会の形成



電気自動車用金属製品/設備の
販売による脱炭素社会への貢献



廃基板リサイクルによる
環境負荷低減への貢献

<ご参考>

※ SDG sとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。